

来週の「売り物」記事はこれ



2011年8月19日号 毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

ロングインタビュー「時代を駆ける」 左官技能士、挾土秀平さん 23日(火)から2週・10回

北アルプスを一望できる岐阜県高山市を拠点に活動する左官技能士の挾土（はさど）秀平さん（49）＝写真。「職人社秀平組」代表として14人の職人を率いながら、文化財級の土蔵や東京の一流ホテルの壁などを次々と手がけ、主張ある作品を世に生み出しています。その仕事ぶりから「壁のアーティスト」「カリスマ左官」と呼ばれますが、一貫しているのは、本物を追求し続ける姿勢です。波瀾万丈の半生と、将来に向けた提言を語ってもらいます。



企画「冠婚葬祭@台湾」 22日(月)から4回



日本と距離的にも心理的にも非常に近い台湾。日本統治時代のなごりもあって、日本人らしく見える点が少なくありません。しかし、台湾には日本人に分かったようで分からない独自の文化があります。日本でなじみの深い「冠婚葬祭」という四つのテーマを通じて、台湾独自のその風習を紹介します。

不妊企画「こうのとりに追って」第3部・不育症 くらしナビA面 23日(火)から6回

好評の不妊企画第3部を23日から計6回にわたり掲載します。今回のテーマは不育症。妊娠はしても流産や死産を繰り返す病気です。流産や死産は人に明かせない場合も多く、周囲の理解も不十分です。経験者や専門医の話から治療法や課題などを追います。



本格リゾットを家庭で くらしナビB面 23日(火)



米をバターなどと炒め、スープなど加えて炊き込むリゾット。人気の料理ですが、家で作ってもレストランのような味わいを出すのは難しいです。イタリアンレストラン「アル ポルト」のオーナーシェフ、片岡護さんに本格リゾットの作り方を教えてもらいました。

放射能汚染に風評被害の二重苦 どうなる、「福島農業」

夕刊特集ワイド面 24日(水)

首都圏の「食」を支えてきた福島県の農業。福島第1原発の破滅的な事故に伴い、深刻な打撃を受けています。原発周辺エリアでの放射能汚染に加え、根も葉もない「風評」…。そして、今、県内のお米の生産者たちは、早期出荷米を対象に進められている放射性物質検査の行方を、息を凝らして見守っています。「生活問題だ」と不安を隠しきれない郡山市の農家と、「このままでは福島農業は終わってしまう」と深刻な表情を浮かべる須賀川市内の卸売業者の姿を追いました。



「知りたいが分かる」がモットーの夕刊特集ワイドにご期待下さい。

紙面事情などにより掲載日が変更になることがあります。